歩掛参考見積募集要領

次のとおり歩掛参考見積を募集します。

令和７年７月 31 日

独立行政法人水資源機構
木津川ダム総合管理所
所長　　杉浦　友宣

１．目　的

この歩掛参考見積の依頼は、木津川ダム総合管理所で予定している業務の積算の参考とするための作業歩掛を依頼するものです。

２．参考見積書提出の資格

（１）水資源機構における令和７・８年度一般競争（指名競争）参加資格業者の認定を受けていることとします。
（２）営業に関し法律上必要とされる資格を有していることとします。
（３）水資源機構から「工事請負契約に係る指名停止等の措置要領」（平成６年５月 31 日付け 6 経契第 443 号）に基づき、淀川水系関連区域において指名停止を受けていないこととします。

３．参考見積書の提出等

参考見積書は、次に従い提出してください。

（１）参考見積書は、作業項目毎に必要な技術者の人数等を記載して提出して下さい。
なお、参考見積書の様式は問いません。
（２）提出期間：令和７年８月６日(水)から令和７年８月８日(金)まで
持参する場合は、上記期間の土曜日、日曜日及び祝日を除く毎日、午前９時から午後５時まで
（３）提出先
独立行政法人水資源機構　木津川ダム総合管理所　所長　杉浦　友宣　宛
【担当】経理課　芳井（よしい）
〒518-0413　三重県名張市下比奈知 2811-2
TEL　0595-65-8961　　FAX　0595-64-8964
（４）提出方法
書面は持参、郵送又はファクシミリ（社印があること）により提出するものとします。

４．参考見積内容

（１）業務基本条件
別紙の「見積仕様書」のとおりとします。
（２）業務作業項目、作業内容及び作業数量
別紙の「見積仕様書」のとおりとします。
（３）業務費の構成と歩掛見積徴取範囲
①　本歩掛参考見積を適用する工事費（業務費）の構成は、当機構が別に制定する「積算基準及び積算資料（各編）」（以下「基準書」という。）によるものとします。

② 歩掛参考見積徴取範囲は基準書で定義されている直接人件費のうち、上記（2）「業務作業項目、作業内容及び作業数量」を実施する為に必要な作業員技術者の人数等を徴取します。

（4）技術者の職種と定義

国土交通省が公表している「令和 7 年度設計業務委託等技術者単価」における「技術者の職種区分定義」によるものとします。

5．募集要領に対する質問

この募集要領に対する質問がある場合においては、次に従い、書面（様式は自由）により提出してください。

（1）提出期間：令和7年7月31日(木) から令和7年8月4日(月)まで
持参する場合は、上記期間の土曜日、日曜日及び祝日を除く毎日、午前9時から午後5時まで

（2）提出場所：3．（3）に同じ。

（3）提出方法：3．（4）に同じ。

6．質問に対する回答

質問に対する回答書は、次のとおり閲覧に供します。

（1）提出期間：令和7年8月6日(水) から令和7年8月8日(金)まで

（2）閲覧方法：ホームページに掲載します。

7．参考見積書作成及び提出に要する費用

参考見積提出者の負担とする。

8．ヒアリング

提出していただいた参考見積書についてヒアリングを実施することがあります。

9．その他

この参考見積書をご提出いただいたことで、業務の指名又は競争参加資格をお約束するものではありません。

ご提出いただいた参考見積書は、業務積算の目的以外には使用いたしません。

以上

見積仕様書

件名：比奈知・高山ダム下流河川環境調査業務（仮称）

1. 業務目的

本業務は、河川生物の多様な生息環境を維持・形成する流況の把握とその調整方法を明らかにするための基礎資料を得ることを目的に、比奈知ダム及び高山ダム下流河川において物理環境、生物等の現地調査を行うものである。

2. 業務範囲

環境調査の範囲は、別添図の範囲を予定している。

3. 調査内容

3-1 計画準備

受注者は、業務全般を把握し業務内容の要点を整理・確認の上、業務計画書を作成するものとする。また特別採捕許可について、三重県への申請書類の作成及び申請手続きを行うものとする。

3-2 河川粗粒化等調査

1) 底質粒度組成調査

比奈知ダム調査地点（St.7（ダム直下））の河原（出水時に冠水する範囲）及び水中部に堆積している泥から砂礫について、各１箇所から６kg 程度を採取し、底質の粒度組成を分析（ふるい分析）するものとする。なお、採取箇所数は５箇所とする。

高山ダム調査地点（St.1（置土上流）、St.2（置土下流））の水中部において底質粒度組成調査を面格子法（コドラートサイズ１m×1m、格子間隔 10cm）で行い、交点下の礫100 個の長径、中径、短径を測定し、粒度分布等を求めるものとする。なお各調査地点（St.1（置土上流）、St.2（置土下流））の測定箇所数は、それぞれ３箇所とする。

3-3 河川環境調査

1) 底生動物調査

比奈知ダム調査地点（St.7（ダム直下））において、各地点の代表的な「1.瀬」、「2.淵」、「3.ワンド・たまり」、「その他（「4.植生あり」及び「5.植生なし」）」の５箇所を選定し、採集は、同様の環境で各箇所３回行うものとする（計 15 検体）。なお、採集用具としてはサーバーネット(25cm×25cm 目合 0.493mm(NGG38))を使用するものとする。

サンプルは種の同定及び種別個体数の計測、湿重量の計測を行うものとする。また、サンプルに混入した枯葉等の粒状有機物については、３段階の篩（目合い：>4.75mm、1.00～4.75mm、0.25～1.00mm）にかけ、乾重量を測定するものとする。

高山ダム調査地点（St.1（置土上流）、St.2（置土下流））においては、各地点で同様の環境３箇所を選定し、採集は各箇所１回行うものとする（計６検体）。なお、採集用具としてはサーバーネット(25cm×25cm 目合 0.493mm(NGG38))を使用するものとする。

サンプルは種の同定及び種別個体数の計測、湿重量の計測を行うものとする。

3-4　調査結果とりまとめ

下流河川環境調査の結果を整理し、比奈知・高山ダム下流河川域における物理環境、底生動物の確認状況をとりまとめ、考察を行うものとする。

なお、底生動物の調査結果の整理については、「平成28年度版　河川水辺の国勢調査基本調査マニュアル[河川版]（底生動物調査編）」に準ずるものとする。

3-5　報告書作成

調査結果及び考察等をとりまとめ、報告書を作成するものとする。なお、報告書には概要版を含めるものとする。

以上

数 量 総 括 表

名　　称	単位	数量	備考
比奈知・高山ダム下流河川環境調査業務（仮称）	式	1	
計画準備	式	1	
河川粗粒化等調査	式	1	
底質粒度組成調査（St.7（ダム直下））	式	1 （5 箇所）	
底質粒度組成調査（St.1（置土上流））	式	1 （3 箇所）	
底質粒度組成調査（St.2（置土下流））	式	1 （3 箇所）	
下流河川環境調査	式	1	
底生動物調査（St.7（ダム直下））	式	1 （15 検体）	
底生動物調査（St.1（置土上流））	式	1 （3 検体）	
底生動物調査（St.2（置土下流））	式	1 （3 検体）	
調査結果とりまとめ	式	1	
報告書作成	式	1	

別紙１　別添図

調査位置図（比奈知ダム）

［別添図］

調査位置図（高山ダム）

別紙2 参考図

② St.7 ダム直下（ダムサイトからの距離約0.8km）

右岸下流から撮影

調査位置図

③St.1 置土上流（ダムサイトからの距離約0.1km）

調査地点右岸から下流側を撮影

④St.2 置土下流（ダムサイトからの距離約0.2km）

調査地点右岸から上流側を撮影

調査位置図

比奈知・高山ダム下流河川環境調査業務（仮称）

労務歩掛見積様式

・様式は参考のため、追加・変更していただいても構いませんが、以下の表中にある調査項目・単位・数量は変更しないようにしてください。

名称	単位	数量	技師長 ※1,2（人）	主任技師 ※1,2（人）	技師（A）※1,2（人）	技師（B）※1,2（人）	技師（C）※1,2（人）	技術員 ※1,2（人）	機械経費 ○○○の○（%）※3
河川粗粒化等調査	式	1							
底質粒度組成調査（St.7（ダム直下）	式	1 （5箇所）							
底質粒度組成調査（St.1（置土上流）	式	1 （3箇所）							
底質粒度組成調査（St.2（置土下流）	式	1 （3箇所）							

※1 設計業務の技術者の名称を記入して下さい。

※2 調査に必要な技術者人数は、小数第１位まで記入して下さい。

※3 機械経費が必要な場合は、直接人件費等に対する割合（%）を小数第１位（小数第２位四捨五入）まで記入して下さい。

名称	単位	数量	技師長 ※1,2（人）	主任技師 ※1,2（人）	技師（A）※1,2（人）	技師（B）※1,2（人）	技師（C）※1,2（人）	技術員 ※1,2（人）	材料費 ○○○の○（%）※3
計画準備　※4	式	1							
下流河川環境調査	式	1							
底生動物調査（St.7（ダム直下））	式	1 （15検体）							
底生動物調査（St.1（置土上流））	式	1 （3検体）							
底生動物調査（St.2（置土下流））	式	1 （3検体）							
調査結果とりまとめ	式	1							
報告書作成	式	1							

※1 設計業務の技術者の名称を記入して下さい。

※2 調査に必要な技術者人数は、小数第１位まで記入して下さい。

※3 材料費が必要な場合は、直接人件費等に対する割合（%）を小数第１位（小数第２位四捨五入）まで記入して下さい。

※4 三重県(比奈知ダム調査地点)への特別採捕許可の申請手数料（3400円）を含めた歩掛にして下さい。なお京都府(高山ダム調査地点)には、底生動物調査での特別採捕許可は必要ないため申請は行わない。

分析単価見積様式

（単位：円）

名称	単位	数量	単価
粒状有機物乾燥重量測定	検体	1	
底生動物（同定・計数）	検体	1	

※分析単価は、諸経費等を含まない１検体当たりの単価を記入して下さい。